

活動名	⑱焼板			
活動のねらい	〇焼板を作ることを通して、制作する喜びを味わうとともに、手作りのよさに気付く。			
活動条件	実施場所	本館野外炊飯場、屋根付炊飯場 各研修室	実施時期	年間を通して実施可能
	所要時間	3時間程度（準備・片付け含む）	対 象	小学校高学年以上
	引率者の 役割	全体指導、個別指導、緊急時対応		
準備するもの	自然の家で貸出可能なもの		購入していただくもの	
	☆火ばさみ（板を焼く際に使用） ☆バーナーヘッド ☆焼板用たわし		☆杉板（170 円/1 枚） ☆まき（500 円/1 束） またはガスバーナー用ボンベ（280 円/1 本）	
	利用者で準備するもの		自然の家にて購入可能なもの	
	☆軍手 ☆マッチ・ライター（まきへの火付け用） ☆布切れ（板を磨く際に使用・新聞紙でも可） ☆ペン（絵付けを行う場合） ☆活動に適した服装 （綿素材の長袖長ズボンの着用が好ましい）		☆ボスカ （330 円/1 本 2,640 円/8 色セット）	
活動の流れ	活動項目	所要時間	活動内容（例）	
	図案を考える	事前	□シンプルな図案を考える □事務室にて必要な物品を受け取る（杉板は売店で受け取る）	
	作り方の説明 準備	20 分	□作り方について説明を聞く □安全について説明を聞く	
	板を焼く	20 分	□まきに火をつけ、板を焼く （ガスバーナーであぶって焼くことも可）	
	焼いた板を磨く	20 分	□焼板用たわしを使い、黒く焼けた炭の部分をこすり取る □こすり取ったススを、布や新聞紙を使ってふき取る	
	絵を描く	90 分	□シンプルに絵付けをする （全体に色を塗ったり、多くの色を使用したりすると焼板の 素材の良さを損なうことになるので避ける） □絵付けをしたら、十分に乾燥させる	
	片付け・まとめ	30 分	□使った用具の返却をする □カマドやススを清掃する	
注意事項	〇板を焼いた後、しばらくは熱を持っています。重ねて置いておくと火が付く可能性があります。 〇板を焼く際は、やけどをしないように注意してください。 〇板を焼きすぎると板が割れたり、反ったりすることがあるので、焼きすぎないように注意してください。 〇板が割れる原因になりますので、杉板に火がついて炎が出たり、赤くなったりしても、たたいたり水をかけたりしないようにしてください。 〇火事の原因になりますので、板を焼いた後、板が冷えるまでその場を離れないようにしてください。 〇絵付けは屋内でもできますが、板を焼いた後、たわしでススをこすり落とす際は、屋外にて行ってください。 〇プログラム実施後は、清掃と後片付けをしてください。			